

施工業者様へ 施工前にこの施工説明書を必ずお読みのうえ、正しく施工してください。
この施工説明書と取扱説明書は必ずご使用になるお客様にお渡しください。

■この施工説明書はLFA207E仕様のイラストで説明しています。

安全上のご注意

- ここに示した **警告** は誤った取扱いをすると、死亡または重傷に結び付く可能性があります。
- ここに示した **注意** は誤った取扱いをすると、傷害または物的損害に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お守りいただく事項の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

この絵表示は、してはならない「禁止」の内容です この絵表示は、必ず実行していただく「強制」の内容です

<p>湯水を逆に配管しないでください。</p> <p>禁止</p> <p>水を出そうとしても、湯が出てやけどをすることがあります。必ず給水管が右側、給湯配管が左側に配管されていることを確かめてください。</p>	<p>給湯温度は85℃より高温で使用しないでください。</p> <p>禁止</p> <p>85℃より高温でご使用になると、水栓の寿命が短くなり、破損して、やけどをしたり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>	<p>加工及び接合、市販浄水器具の取り付け等の改造はしないでください。</p> <p>禁止</p> <p>器具が破損し、やけど・けがをしたり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>
<p>給湯に蒸気を使用しないでください。</p> <p>禁止</p> <p>器具が破損して、やけど、漏水のおそれがあります。</p>	<p>寒冷地仕様の場合</p> <p>水抜きつまみは水抜き以外の目的で開けないでください。</p> <p>禁止</p> <p>水抜きつまみをいきなり開けると高温の湯が出てやけどをしたり、湯水が吹き出して、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>	<p>配管などの解氷のため解氷機をご使用の場合、水栓には絶対に通電しないでください。</p> <p>禁止</p> <p>通電すると水栓が発熱し、破損して家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>
<p>警告</p> <p>他所の水栓の使用等により水圧変動が起こり、湯の使用中に湯温が急上昇することがあります。</p> <p>やけどのおそれがありますので、やけどのおそれのないところまで水圧変動をおさえた配管設備にしてください。</p>		

<p>注意</p> <p>器具に強い力や衝撃を与えないでください。</p> <p>禁止</p> <p>器具が破損し、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>	<p>めっき部品は、ぶつけたり落としたりしないでください。また、鋭利な物や硬い物を当てないでください。</p> <p>禁止</p> <p>めっきの表面が割れて、けがをすることがあります。万一めっきの表面が割れた場合は、ただちに新しい部品に交換してください。</p>	<p>凍結が予想される際は、一般仕様をお使いの場合、少量の水を出しておくか、配管に布を巻くなどして、凍結を防止してください。寒冷地仕様をお使いの場合は配管の水抜き操作と水栓金具の水抜き操作を行ってください。</p> <p>禁止</p> <p>水抜きしないと凍結破損で漏水し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>
--	--	---

取り付け前に

- ① 使用水圧 (A= (給湯機の最低作動水圧) + (配管圧力損失))
 - (1) 瞬間給湯機との組み合わせ (設定条件 水温: 25℃ 給湯機温度調節: 高温 吐水温度: 42℃ ハンドル全開) (比例制御式) 最低必要水圧: 吐水口仕様…A+50.0KPa (動水圧)、キッチンシャワー仕様…A+0.10MPa (動水圧) 最高水圧: 0.75MPa (静水圧)
 - (2) 貯湯式給湯機との組み合わせ (給湯・給水圧力) 最低必要水圧: 吐水口仕様…A+50.0KPa (動水圧)、キッチンシャワー仕様…A+80.0KPa (動水圧) 最高水圧: 0.75MPa (静水圧)
- ② 操作レバーは全開で使用してください。給湯機が着火しない場合があります。
- ③ 給水圧力は給湯圧力より高くするか、同圧になるようにしてください。
- ④ 給水圧力が0.3MPaから、0.75MPaまでは止水弁で流量調節してください。
- ⑤ 給水圧力が0.75MPaを超えるときは、市販の減圧弁で、0.2MPa程度に減圧してください。
- ⑥ 給湯機の給湯温度は、安全のため60℃給湯をおすすめします。
- ⑦ 給湯機からの配管は最短距離で配管し、配管には保温材を巻いてください。
- ⑧ 使用諸条件を加味して適正な能力の給湯機を選ばないと、適正な吐水量及び吐水温度が得られないことがあります。
- ⑨ 本製品は改造(加工及び接合、市販浄水器具の取り付け等)によるトラブルについては、保証の限りではありません。
- ⑩ 通水検査をしていますので器具内に水が残っている場合がありますが、製品には問題ありません。

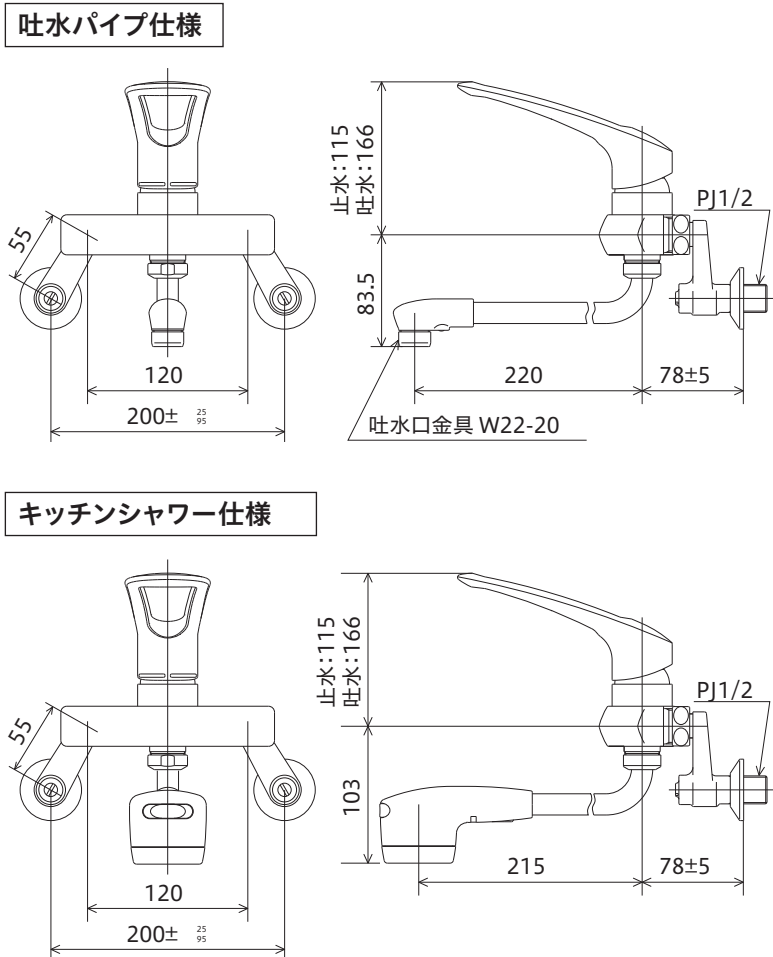
取り付け完成図と各部の名称

<p>吐水パイプ仕様</p>	<p>キッチンシャワー仕様</p>
-----------------------	--------------------------

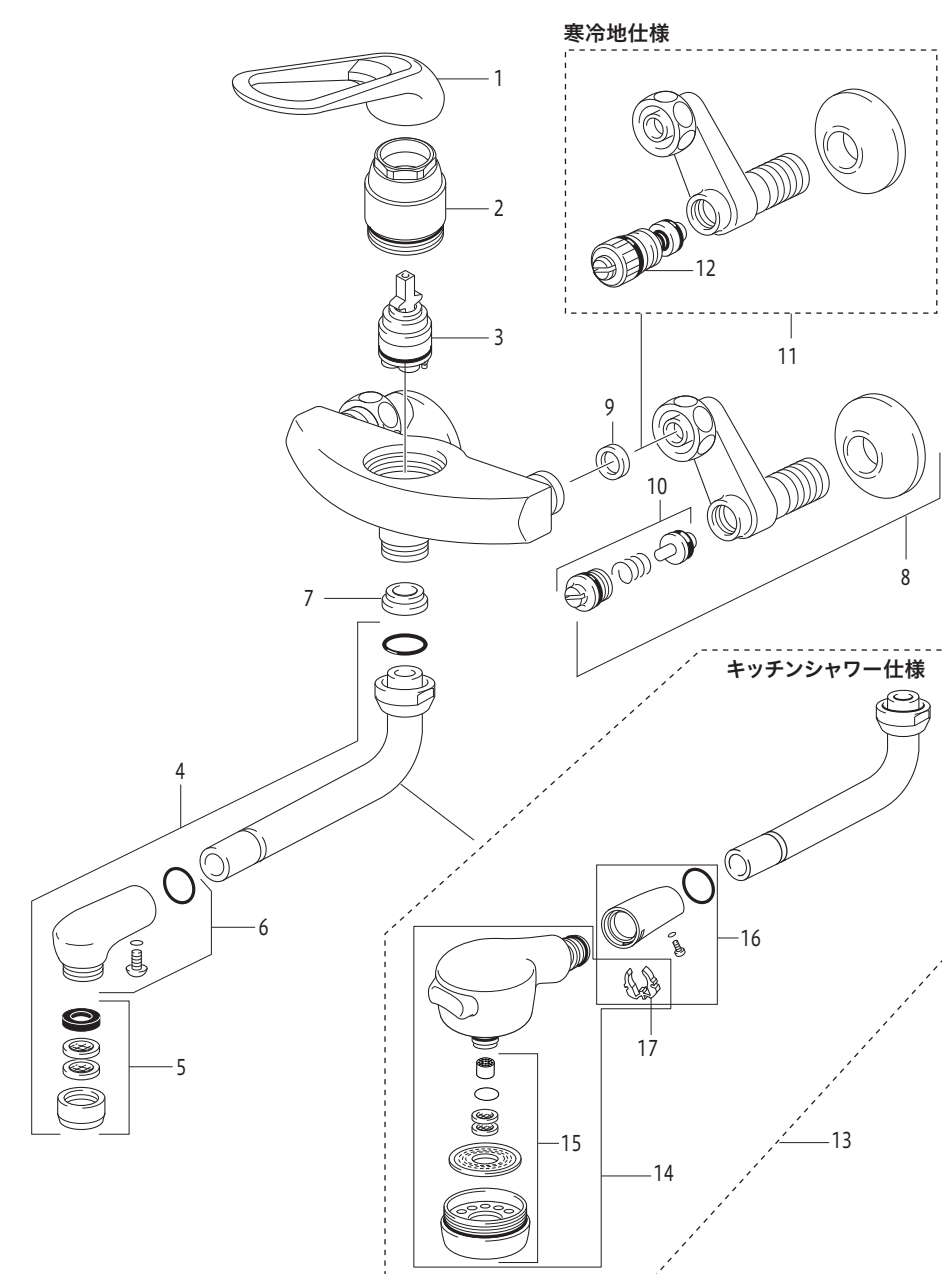
寸法図 / 分解図

部品の形状は仕様によって異なる場合があります。

寸法図



分解図 この分解図は製品説明図であり、サービス部品の単位を示すものではありません。

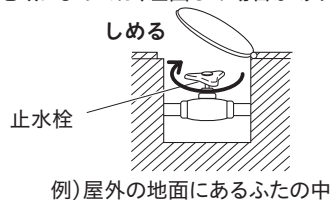


1	操作レバー組
2	カートリッジ押え
3	セラミックカートリッジ
4	吐水パイプ組
5	吐水口金具組
6	吐水キャップ組
7	パイプスリーブ
8	取付ソケット組
9	パッキン
10	逆止弁
11	取付ソケット組
12	水抜きつまみ
13	吐水パイプ組
14	シャワーヘッド組
15	散水板組
16	アタッチメント組
17	止めリング

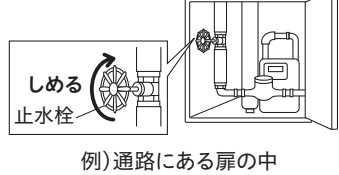
取り付け手順

従来品から取り替える場合 ※取り替えの際は、取付店またはKVK修理受付センターにご相談ください。

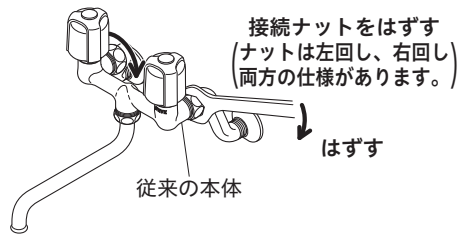
- ① 止水栓を閉め、湯水が出ないことを確認します。
(地域によっては、左回しの場合があります)



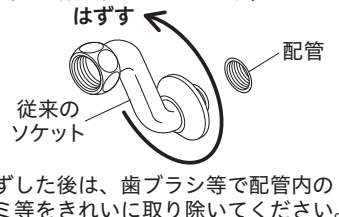
マンションなどの止水栓ボックスの場合



- ② 従来の本体を取りはずします。



- ③ 従来のソケットを取りはずします。
(回した数を控えておきます)



1 給水管内の清掃

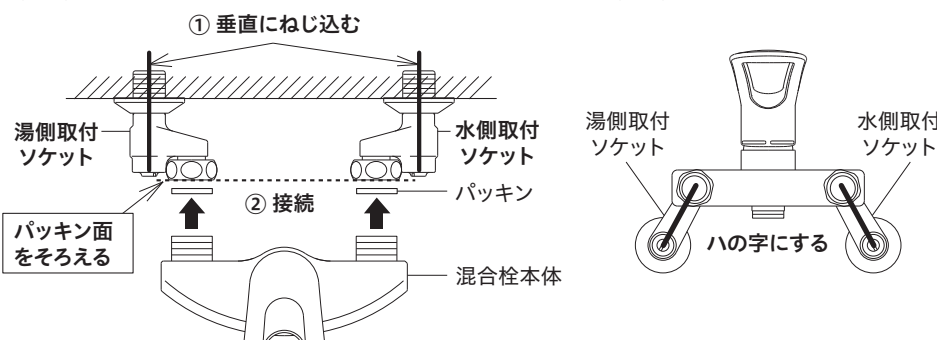
配管工事後、必ず給湯・給水管内を清掃してください。

2 取付ソケットと本体の取付

- ① 取付ソケットのネジ部にシールテープを巻いて、配管に垂直にねじ込みます。
【お願い】・図1のように湯側と水側のパッキン面は、段違いにならないようにしてください。
(シールテープの巻き数にて調節してください。)
・図2のように湯側取付ソケットと水側取付ソケットは「ハ」の字にして取り付けてください。
- ② 取付ソケットと本体を接続します。
【△注意】締め付けは、六角の二面幅に合わせてモンキーレンチ等で確実に行ってください。
締め付けトルクの目安は約2000N・cmです。
締め付け不足や締め付け過ぎますと、漏水の原因となります。

〈図1〉 上から見た図

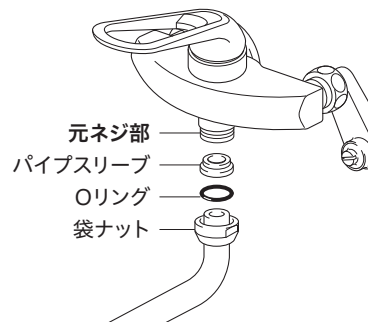
〈図2〉 前から見た図



5 ページ

3 吐水パイプの取付

- ① 吐水パイプの袋ナットにパイプスリーブ・Oリングが入っていることを確認します。
② 混合栓本体の元ネジ部に吐水パイプの袋ナットを工具にて締め付けます。
【お願い】締め付ける際は傷が付かないよう、あて布等をしてください。
【△注意】締め付けトルクの目安は約100N・cmです。
締め付け不足や締め付け過ぎますと、漏水の原因となります。



6 ページ

取り付け後の点検と清掃1

通水確認

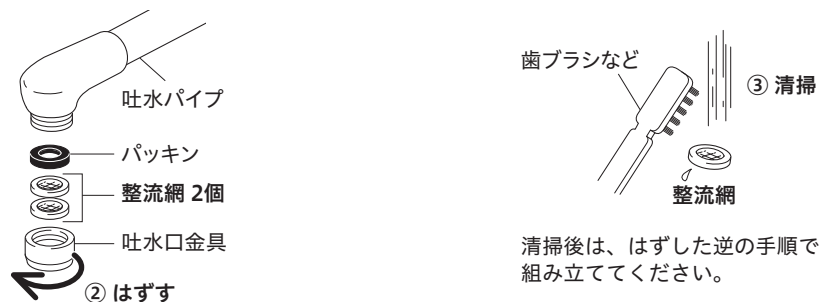
- 【△注意】水栓を取り付け後、通水して湯水の出し止めを5～6回繰り返し、配管接続部及び水栓から水漏れがないことを確認してください。確認しないと、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

整流網・整流器・ストレーナ・散水板清掃のお願い

吐水パイプの整流網またはシャワーヘッドの整流器・整流網・ストレーナ・散水板にゴミ等がつかまりまると、吐水量が減ったり、きれいに流れなくなったりしますので、施工後必ず清掃してください。

吐水口パイプの整流網清掃(吐水パイプ仕様の場合)

- ① 湯水全開で20～30秒吐水させます。
② 吐水口金具をはずす方向にひねって、整流網を取りはずします。
③ 整流網をブラシで水洗いします。



整流器・整流網・ストレーナ・散水板清掃(キッチンシャワー付仕様の場合)

- ① 湯水全開で20～30秒吐水させます。
② 散水板をはずす方向にひねって、整流器・整流網・ストレーナ・散水板を取りはずします。
③ 整流器・整流網・ストレーナ・散水板をブラシで水洗いします。

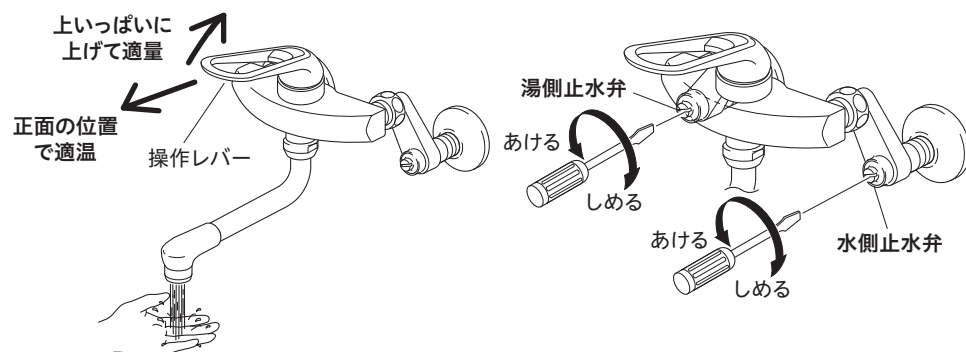


7 ページ

取り付け後の点検と清掃2

湯温・流量調節

操作レバーが正面を向いている位置で適温、全開吐水で適量になるように、止水弁で調節します。



故障かなと思ったら...

次のような現象は故障ではありません。修理を依頼される前に下記の表に従ってもう一度確かめください。

現象	お調べいただくところ	処置	参照ページ及び項目
吐水量が少ない	止水弁は十分に開いていますか	止水弁を開ける	8ページ「湯温・流量調節」
	整流網・整流器・ストレーナ・散水板にゴミ等がつかまっていませんか	整流網・整流器・ストレーナ・散水板を清掃する	7ページ「整流網・整流器・ストレーナ・散水板・清掃のお願い」
	ガス給湯機と組合せてご使用の場合、能力切換式のものでは適正能力にセットされていますか 整流網・整流器・ストレーナ・散水板は凍っていませんか	ガス給湯機の能力を適正能力にセットする 整流網・整流器・ストレーナ・散水板にぬるま湯をかける	—
高温しか出ない	水側止水弁は十分に開いていますか	止水弁を開ける	8ページ「湯温・流量調節」
低温しか出ない	湯側止水弁は十分に開いていますか 給湯機から十分な湯がきていますか	止水弁を開ける 給湯機の設定温度・作動を確認する	8ページ「湯温・流量調節」
温度調節がうまくできない	湯側・水側止水弁は十分に開いていますか 給湯機から十分な湯がきていますか	止水弁で流量調節をする 給湯機の設定温度・作動を確認する	8ページ「湯温・流量調節」
吐水が飛び散る	整流網・整流器・ストレーナ・散水板にゴミ等がつかまっていませんか	整流網・整流器・ストレーナ・散水板を清掃する	7ページ「整流網・整流器・ストレーナ・散水板・清掃のお願い」
	整流網・整流器・ストレーナ・散水板にゴミ等がつかまっていませんか	整流網・整流器・ストレーナ・散水板を清掃する	7ページ「整流網・整流器・ストレーナ・散水板・清掃のお願い」

【水栓本体内部のメンテナンスをする場合】

- 【△注意】修理技術者以外の方は水栓本体内部を分解しないでください。故障や水漏れの原因になります。
水栓本体内部のメンテナンスは、取付店・販売店またはKVK修理受付センターにご依頼ください。

8 ページ